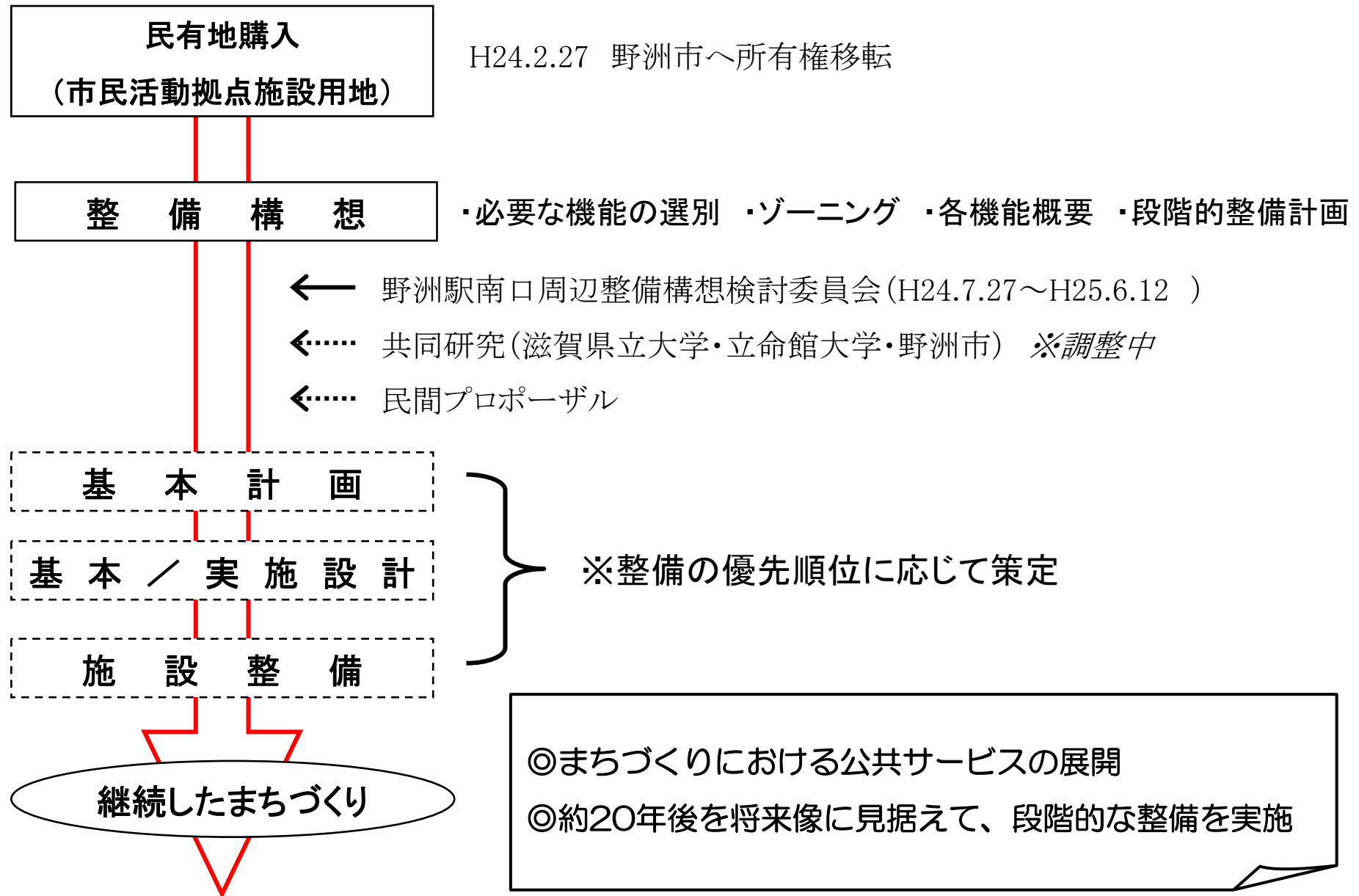


(補足資料)

検討の流れ①

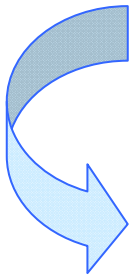


検討の流れ②

共同研究による検討

検討委員会による報告書を土台とし、更なる検討を実施

- ◎報告書の内容をもう一段具体化するために、チームによる研究を実施
- ◎多くの市民が検討に参画する仕掛けのなかで、広く市民意見を反映したオープンな検討
- ◎分野ごとの専門的な視点を融合させた理論的な研究



市民の思いと専門家のノウハウを融合させ、
駅前のポテンシャルを最大限活かせる提案

○チーム構成(都市計画、建築、景観、環境、商業、まちづくり分野など)

※調整中

- ・松岡 拓公雄 教授(滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科) 他
- ・及川 清昭 教授(立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科) 他
- ・野洲市政策調整部企画調整課地域戦略室

○研究内容

- ・各機能の概要(施設構成、施設規模など)
- ・立体的、複合的ゾーニング 等

○研究期間

- ・平成26年夏頃に
研究成果を発表

○研究手法

- ・市民ワークショップ
- ・各種意見集約(世代別、団体別など)
- ・JR沿線を含む市内外マーケティング 等

